

イチゴの施肥量および培養土と栄養成分

福島県農業試験場野菜部

平成17年度試験成績概要

1 部門名 野菜－イチゴ－品質・食味
分類コード 03-07-01091327

2 担当者 雨宮潤子・山内富士男

3 要 旨

イチゴ(ふくはる香、ふくあや香)促成栽培において、施肥量を標準の培養土が果実品質におよぼす影響について検討した結果以下の知見を得た。

(1) 標準の施肥量(N:2.1-P₂O₅:2.5-K₂O:2.1kg/a)からそれぞれ20%増肥、20%減肥、40%減肥して栽培を行った結果、糖度及び糖酸比の推移に差が見られなかった。

(2) 異なる培養土(黒土、ロックウール、ピートモス、ヤシ殻)を用い養液栽培を行った結果、糖度、糖酸比の推移は黒土、ロックウール、ピートモスに差は見られなかったが、ヤシ殻区では他より低い時期があった。

(3) 果実硬度は、施肥量別、培養土別では差が見られなかった。

(4) 以上の結果から、イチゴ(ふくあや香、ふくはる香)の促成栽培において、本試験の施肥量では果実品質に影響はない。また培養土については、ヤシ殻区に不安定な時期があったが、培養土が果実品質に与える影響は少ない。

4 その他の資料など